



さぬき市教育委員会事務局 生涯学習課



令和3年 3月

子育て上手になる「魔法の言葉」

言葉にはネガティブな力もあれば、ポジティブな力もあります。褒めて、認めて、励まし、愛情と感謝を伝える「魔法の言葉」を意識して使い、子どものポテンシャルや感受性をぐんぐん伸ばしてあげてください。お父さん、お母さん、ぜひ声に出して言ってみてください。



「励ましの言葉」

励ましの言葉かけは「失敗しても大丈夫」「また頑張ってみよう」と次へのステップの「意欲」につながり、前へ進むことができます。

やってみようね！

ちょっと背中を押してあげれば意欲が出ます。



見ているよ！

結果だけでなく行動のプロセスが大事です。

もう1回！

失敗しても何度でも「もう1回！」でめげません。

がんばって！

親の励ましは一番嬉しいものです。



きっと大丈夫！

安心感を与える言葉です。

難しかったね

頑張っている子どもを観察し同感してあげましょう。

間違えてもいいよ

間違えることに臆病になるのは叱るからです。

失敗してもいいよ

失敗してステップアップしていくのです。

進め！進め！

意欲を前面に、行動させる言葉です。



一生懸命だね

めげずに頑張っていることを認めてあげてください。

きっといいことがあるよ

期待と安心を与えます。

チャレンジしてみよう

少し「上」を目指すことも大切です。



【裏面もご覧ください】

「褒める言葉」

褒める言葉かけは「またやりたい」という
《意欲の源》になります。

褒めるタイミングは その時 その場 の言葉かけです。

結果のみでなく、子どもの行動をよく観察し「過程（プロセス）」を褒めることを忘れないようにしましょう。褒め方は、言葉だけでなく、**心から 笑顔で しぐさを伴い 優しい口調で** 褒めましょう。

すごいね！

がんばっている様子や姿、
結果を褒めてください。

できたね！

子どもは自分が
やったことを認めて
ほしいものです。



またやってね

親に期待されているのは
嬉しいものです。

じょうず！

笑顔で、心をこめて
褒めましょう。



うれしい！

子どもは親に
喜んでもらうのが
大好きです。



天才！

大げさですが、
たまに使うと
「効果的」です。

助かった

親の役に立つことは
嬉しいし、誇らしいも
のです。



ありがとう！

感謝の言葉は非常
に大事です。子ども
は嬉しいはずです。

かっこいい！

子どもは常に
「かっこよくありたい」
ものです。



すてき！

「すてき！」と
言われて気分は
最高！なはずです。